



会長 橋本八右衛門 青少年奉仕 正部家光彦
副会長 妻神 和憲 幹事 小田山紀暢
クラブ奉仕 石橋 信雄 会計 岡崎 孝文
会長エレクト 山村 和芳 会場監督 鶴飼 寿栄
職業奉仕 小井田和哉 直前会長 紺野 広
社会奉仕 深澤 隆 副幹事 中村 稔彦
国際奉仕 深澤 隆 会計補佐 浜谷 英幸

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内
電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
http://hachinohe-rotary.org/
会報・広報委員長 宮下 悟 同副委員長 峯 正一
同委員 松林 拓司 同委員 上村 奉樹

国際ロータリーのテーマ — 2024~25 — 八戸ロータリークラブのテーマ

ロータリーのマジック

学ぼう、つながろう、そして一歩前へ!

~個人を磨くとクラブも輝く!再構築ロータリー~

国際ロータリー会長 ステファニーA.アーチック

八戸ロータリークラブ会長 橋本 八右衛門

1 月 は 職 業 奉 仕 月 間 で す

第3341回例会 2025.1.22

会長要件 橋本八右衛門 会長



ここ数日来、アメリカのトランプ大統領の就任ということで大騒ぎしています。極端に大統領令を乱発しているような感じが見受けられるということが報道されています。パリ協定脱退、WHO脱退、カナダはアメリカ発言、関税はいきなりやらなかったということは報道されていませんが、〇%と騒がれています。

その中で気になったのはDEIについてです。当然ご存じだと思いますが、DEIは「Diversity (ダイバーシティ、多様性)」「Equity (エクイティ、公平性)」「Inclusion (インクルージョン、包括性)」の略で、ロータリーでは多様性、公平さ、公設性としてロータリーでは使っています。アメリカの内容でいいますと、連邦政府のDEIプログラムの廃止、性別は男女のみという発言とか、本当に一国の党首がそのような発言をしている。なかなか中途半端な方からすると、何となくそれに距離を感じているということです。

以前からDEIに対して保守層から反発の声が出ていた。少数派の権利重視は逆差別に当たるのではないかということでの政治的な判断でしょうけれども、これに大きな企業のウォルマート、マクドナルド、メタなどが方針を見直すということで、いろいろと逆のバイアスがかかっているという状況です。そこらへんはわれわれのDEIの判断とは違うと思いますが、アメリカでは推進されないこの4年間ということ、ひじょうに大きなマインドがあるのではないかと考えています。日本でも当然多くの企業でDEIの提唱、推進をしている企業もあります。直接的には関係がないのですが、やはり大企業でアメリカと絡んでいる企業はひじょうにたいへんだと思います。

国際ロータリーではDEIをもろ手を挙げて推進している。誰にとっても協力的で、前向きで健全な環境をロータリー会員が維持するのを支える仕組み。次のことを求めています。

他者を尊重することばを使う。サポートを示す。温かく迎え入れるインクルーシブな環境を助長する。多様性を重んじる。表現の自

由が大切ですが、年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会的地位、文化、性別、性的指向に対するバイアス。偏った考え方、差別、偏見、ヘイトを促進する行動をロータリーは容認しない。これはMY RotaryのDEIの説明に書かれていることばです。

DEIに関しては今まで前向きな議論をしてきておりますし、しっかりと考えるべきことだろうということです。アメリカはそういうことで大騒ぎをしていますが、DEIについてしっかりと考える機会にするにはちょうどいいかなと思っています。それぞれの会員の方も考えていただければと思います。

それでわがクラブは、そういうところで議論したのは、前年度に結果として八戸南サクラエイトロータリークラブという、女性だけの衛星クラブが誕生しましたが、その時は“衛星クラブ”という話がメインでした。その時に女性会員を考える機会があったな。けっこうこしばらくは、そのような話もなかった。わたしの感じ方とすると、女性の方が入りたいたいといっても、それを受け入れる形にはなっているのではないか。あとはそのような方がいらっしゃったときに、拒否しないことが今後のクラブに必要なのかなと思っています。あとはだんだん男性だけのクラブもレアなポジションになってきたので、これもまた貴重なことなのかと、逆に思うしだいで

す。

いずれにしても、DEIはロータリーとしては大切なことですので、皆でまた考えていきたいと思っています。

表彰

ポールハリスフェロー 山本 仁さん(欠席)
ポールハリスフェロー③ 接待一雄さん

幹事報告 小田山紀暢 幹事

○かるた大会について (1/22締切)

2月2日(日)のかるた大会のお手伝いを募集していましたが、本日時点で10名の方がご参加いただけるそうです。昨日時点での参加



者は小中学生合わせて20名です。

- 南グループIMについて (1/22締切)
- 地区職業奉仕フォーラム開催について

2月8日(土)14:00～、八戸パークホテルで開催されます。人数に余裕がありますので、ご応募よろしくお願ひします。

○八戸ロータリー親睦委員会で開催しましたBIG IDMについて、第1回は橋本昭一さんに卓話をいただきながら開催しました。第2回を2月11日に行います。村井達バスターより卓話をいただきながらの開催です。後日ご案内の予定です。

委員会報告

親睦・会場委員会 栗谷川俊彦委員長



○ニコニコボックスの報告

- ・誕生祝 佐々木泰宏 加藤範尚さん
- ・奥様誕生祝 工藤義隆 寺下一之さん

橋本八右衛門さん 新年会、界限はいかがでしょうか？適量飲酒で楽しみましょう。

小田山紀暢さん 村井さん、鶴飼さん卓話よろしくお願ひします。

熊谷清一・赤澤栄治さん ニコニコデー

職業奉仕委員会担当例会 村井 達副委員長



今年の職業奉仕委員会は委員長は山村和芳さん、副委員長は村井達、委員は山田慶次さんと野村一雄さんです。

職業奉仕はVocational Service。トランプ大統領に敬意を表したわけじゃありません。なぜ英語で書いたかというと、“Vocation”ということが大きな意味を持っています。

まず職業奉仕とはなんぞや。ロータリーの用語辞典、マニュアルの定義では『奉仕の第

2部門である職業奉仕は事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきである。こういう認識を深めてあらゆる職業に携わる中で、奉仕の理念を実践していく。という目的を持つものである。会員の役割にはロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと。そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。』こういう用語になっています。なんだか、わかったような、わからないような、難しいのがこの職業奉仕です。

わたしも入会したころは随分昔になります。この職業奉仕は一体何なのかということで、個人的にちょっと勉強させてもらったことがあります。そこで無責任になりますが、わたしなりの職業奉仕というものを研究した中身をちょっとご紹介させていただきます。

職業奉仕は日本や世界における他の奉仕団体、ライオンズクラブ、ソロプチミスト、キワニスなどの奉仕団体や他の社会的な組織にはない、ロータリーならではの際立った特色だと思います。ロータリーの考え方のルーツ、これは実は職業奉仕にあったということが分かってきました。

職業奉仕に関する定義や声明、宣言によく出てくるのが、職業の道徳的水準、倫理的規範、品位、下品ということばです。このことばがまったくその通り出てくる古典、哲学書があります。皆さんよくご存じだと思いますが、ドイツの哲学者マックス・ウェーバーが「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」の哲学書を書いています。これは1904年～1905年にかけて書かれた書物です。資本主義の基本的な考え方は、実はキリスト教のプロテスタント派の道徳倫理が基礎になっている、という本です。マックス・ウェーバーがこの本を書いたのは1904～1905年ですが、ポール・ハリスがロータリーを創設したのが1905年なんです。驚くべき一致だったと思います。

マックス・ウェーバーから学んだことを

少し申し上げます。Vocational ServiceのVocationalはそのまま訳すと“天職”という訳ですが、ロータリーの日本語版では職業奉仕になっていますが、英語版ではVocational Serviceです。マックス・ウェーバーによりますと、資本主義を構成する職業、産業、労働などの基本要素はプロテスタントの天職、vocation、神から与えられた仕事という意味です。これが基礎になっています。神から与えられた仕事である以上、仕事（職業）は社会の役に立つような気品のある仕事でなければならない。こうなったんです。すなわち、資本主義の神髄は気品のある仕事、社会の役に立つ仕事を職業として、生活の糧を得ることにある。そしてこのこと自体が職業奉仕そのものなんです。

ちなみにロータリーの職業奉仕の英語でのVocational Serviceは、正確な日本語だと“天職奉仕”になります。日本語で今われわれが使っている職業奉仕を、もし一般的な英語訳すると、professional service、occupational serviceということばになるだろうと思います。すなわち、ポール・ハリスたちのロータリーの先達が始めた職業奉仕は気品と倫理のある神聖なる職業、天職による奉仕という概念であったと思います。職業奉仕は資本主義とロータリーの基盤であるというものすごいことが分かってきました。

次にロータリーの考え方のルーツは何か。職業奉仕にあるということがわかってきた。ロータリーの奉仕の理念のルーツ、これは資本主義の精神なんです。ここに中国のロータリークラブはどうなんだ。中国は資本主義国家ではないですから、じゃあ、ロータリーはどうなっているんだ。中国に2つあるはずで。北京と上海。中国のロータリークラブは中国に来ていた外国人が作ったクラブです。中国人が作ったのではなく、中国国内ではロータリーというのは公式に認められていない。従って、中国人のロータリアンはほとんどいない。ということで、結局、資本主義だということなんです。

この資本主義のルーツはプロテスタントの

倫理だった。プロテスタントの倫理の重要構成要素は天職、Vocationです。神から授かった仕事、社会の役に立つ仕事。これによる奉仕が職業奉仕ということがわかってきました。

ロータリーの奉仕の基本的な考え方がもう一つあります。これはロータリーの奉仕は困っている人や飢えている人に直接的にお金やパンや肉や魚を与えるよりは、パンの作り方、家畜の育て方、魚の獲り方を教えなさい。こういうのがロータリーの基本方針です。すなわち一時しのぎではなく、しっかりした生計を立てられるように仕事を得させましょう、という奉仕の仕方を主眼としているということです。つまり職業奉仕そのものです。

それで、八戸ロータリークラブではどういう職業奉仕観があったかというのを紹介させていただきます。これまでわたしはロータリアンだということで、上村プログラム委員会の計画で、これまで多くのベテランの方々から最初に「自分の職業奉仕について」ということについて触れていただいています。今年度の職業奉仕委員としては、これはありがたく感銘深く傾聴させていただいています。たくさん、いろいろすばらしいお話がありますが、時間の都合でその中からお一人の職業奉仕観をご紹介します。

熊谷清一先生。弁護士という立場の職業奉仕観。在無名にしてもお出でになる。先生のことば「美しき灰色を探す」を皆さんも覚えていらっしゃると思います。これはひじょうに美しいことばです。中身は、裁判の判決は白か黒か、0か100である。判決による解決方法は争いの当事者の一方に大きな魔を残す。熊谷弁護士は互いの納得できる解決策が無いかを常に模索しております。すなわち白と黒の間に無限の灰色がある。お互いが譲り合って納得できる落としどころを模索すべきである。そこが美しき灰色。すばらしい職業奉仕観だと思います。他の会員の方からもすばらしいことばがたくさんありました。さすが八戸ロータリークラブであります。

GSE (Group Study Exchange 研究グループ交換) という点綴的な職業奉仕の国際的な

交換がありますが、時間の関係で残念ながらカットさせていただきます。

「洒落た田舎を作ろう」はわたしがガバナーの時のテーマでした。これは職業奉仕が発想の主体になっています。これを書いた頃は職業分類を書くロータリークラブで厳しかったところでした。同じ職業だと競争関係にありますから、そうするとなかなかロータリーの事業でも協力が難しいのではないかと。こういうことで、国際ロータリーでも一業種一人の原則でした。

ですから、例えばわがクラブも銀行さんもたくさんおいでになった。青森銀行、みちのく銀行、岩手銀行、秋田銀行、商工中金など。この方々は同じ職業でもみんなメンバーに入れたんです。なぜ入れたのかというと、中身を区別したんです。工業銀行、商業銀行、輸出入銀行など、あえてそういう名前をつけて振り分けて、そこからお一人ずつ入っていただいた。こういう形をとりました。今は一つのクラブで1つの職業で5人まではOKだということになって、実際にそういう職業分類ということで区別することがあまりなくなってきました。そうあるべきだとわたしも思っています。

お前は酒屋でどういう奉仕をしているのかと言われるかも知れませんが、酒を飲ませて酔っぱらしたり、飲酒運転をさせたりして、それ奉仕かと怒られるかもしれませんが、そうではありません。まず、地のものを愛する。地産地消をやりましょう。地域の豊かな経営資源を再認識して、愛と英知で組み立てましょう。AIの活用。事業連携、職業連携。産官学医金の連携を進めて地域ブランドを



作っていいじゃありませんか。ですから同じ職業であっても、みな肩を組んでやっというということです。そして士。弁護士、会計士等のプロを大いに活用させてもらいましょう。そしてグローバルな発想でいきましょう。外国人と海外のマーケティングを含んで、グローバルな発想でみんなで肩を組んでいいじゃないか。こういうふうを考えました。

ロータリアンが共に協力しあえば、地域も世界も自己実現。世界平和に大きく貢献すると思っておりますので、飲酒運転をさせるとか、考え方ではないというふうにご理解いただきたいと思えます。ロータリーの活動は基本的に職業奉仕というのが中心的な考え方になっているということをご理解いただければ幸いです。

読めば楽しくなるロータリーの友後援会

鶴飼寿栄会長



1月号は職業奉仕月間です。ロータリーの友もこのことを書いて説明しています。

今回目についたのは、ロータリーあるある相談室。ここで各会員の想ったことを質問するようなコーナーです。どこの団体にもあると思えますが、先輩後輩、若い人年配者の摩擦、相容れない、理解できないふうなことがあるようです。やはりそういったものが、先輩ロータリアンとして若い人たちに反感を持っているというふうなことが載っています。

そこは仕方ない部分があると思えますが、このパネリストの十和田RCの佐々木千佳子パストガバナーの意見が載っています。まあまあ、みんなで若い人たちをちゃんと育てていきましょうという内容です。面白い内容ですので、皆さん読んでいただければと思います。

ここで発見したことがあります。ロータリーソングは職業奉仕にある。「我らの生業」はまさに職業奉仕を歌っている。これに4つのテストが集約されているのではないかと

見ている人の記事も載っていますが、おもしろいと思ってみました。一つ発見して知識が深まった気がします。

四つのテストはこれまでの歴史から現代にいたるまでの随分長い内容が書かれています。四つのテストはロータリークラブのメインでもあります。それが実は四つではなく、最初は七つあったということです。さまざまな議論の中から四つに集約されたということが詳しく書いてあります。この四つのテストは他人に問うものではない。自らを律するものだとあります。なかなか自分のことと捉えるのは難しいのです。

この四つのテストの中でも「真実かどうか」というのは特に気になる部分です。今の時代、この“真実”を探すことはなかなか難しいですが、これをどちらかという避けて通りたいという心境は誰でもあると思えます。トランプ大統領の本当のことがわからない、韓国の大統領の件でも本当なのかというのはなかなか掴みづらい。

わたしたちの業界でも今問題になっている車の製造問題。製造の認証を偽造したということで出荷停止にあって、今新車がなかなか入ってこないという現象が続いています。この中身をお話すると、決してごまかしたわけじゃない。より以上の安全基準を作って、それを製造してきたわけですが、実際にその基準が変わったんです。ちゃんと役所に届け出なければならぬ。変更をかけなければならぬわけです。より安全だということの驕りもあったと思えますが、しかし法はなかなかそれを許さない。出荷停止の段階まで入ってきているわけです。じゃ、こういったものは本当にそうなのか。報道で見る範囲しかわからないわけです。世の中にはいたって分かりにくいものがいっぱいあります。

そういったことの真実は、やはり長い目で見ると、確かに記事は今更ながらも真実に向かっていることは動いているのではないかと思います。先ほど熊谷先生のお話の紹介もありましたが、この社会の中でこれに通じるものがあるのではないかと思います。グレーの

世界を生きるということは、どちらかという
と楽な生き方になってくると思いますが、果
たしてグレーで収まっているのかどうか。や
はりわたしとしては考えなければならないのかと
思っています。

そういったことがたくさんある中で、ロー
タリーが「真実かどうか」を一番先に挙げて
いるのはすごいなと思わざると得ないわけ
です。四つのテストは企業理念だと言われてい
ます。取り引きの中で生まれてきたテストと
言われています、考えてみると、商売はこの
逆の方がやりやすいと思ったりもします。

例えば、今起きている問題は米の問題です。
今は米不足だということで、米の値段がどん
どん上がって、貧困層の人たちがなかなか米
が自由に買えないという状態が続いているわ
けです。今また大阪万博が4月から始まりま
すが、ここに相当の量の米の需要が発生した

ということで、また米騒動が起きるのではな
いかと言われています。じゃ、本当に米がな
いのか、本当にそれだけの米が大阪で需要と
してあるのか。よくわからないままに皆さん
がその情報を鵜呑みにする、不安がっている
わけです。やはり米の問題をこの四つのテス
トに照らしたら、真実かどうかのほかに、ど
れに該当するのかと思います。いろんな米の
流通の中でやはりそれぞれ四つのテストに該
当するものか、この四つのテストでは賄いき
れないようなものがあるような気がしていま
す。

こういった話をしても、なかなか雑誌の核
心に迫らないと思いますが、わたしの与えら
れた時間を消化しましたので終わらせていた
だきます。

幹事：例会後に定例理事役員会があります。

出 席 報 告						出席委員会																	
第3341回例会（1月22日）				第3339回例会（1月8日）																			
出席率		61.5%		出席率		63.1%		修正出席率	66.2%														
総会員数		66名		出席数		40名		総会員数		66名		メイクアップした人数		2名									
出席義務会員		65名		出席免除会員		1名		欠席数		25名		出席義務会員		65名		出席免除会員		1名		欠席数		22名	

出 席 報 告						出席委員会																	
第3340回例会（1月15日）				第3338回例会（12月25日）																			
出席率		100.0%		出席率		100.0%		修正出席率	%														
総会員数		名		出席数		名		総会員数		名		メイクアップした人数		名									
出席義務会員		名		出席免除会員		名		欠席数		名		出席義務会員		名		出席免除会員		名		欠席数		名	